



みらい

令和4年度 第3号

令和4年12月発行

五十嵐小学校学校運営協議会



令和4年度(2022年度)に新潟市の学校はすべてコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入します。五十嵐小学校は昨年度より全市の導入に先駆けてモデル校となり、今年度は2年目となりました。学校運営協議会を設置し、地域と学校が支え合い、ともに成長し、活性化していく「地域とともにある学校」づくりを進めていきます。

第3回学校運営協議会が開催されました(令和4年11月22日(火)五十嵐小学校にて)

日諸会長あいさつ

今、学校に関わる地域の組織がたくさんあって、縦にはそれぞれが素晴らしい事業をやっている。私もこの協議会に入って情報を得て、いろいろな活動を知ることができました。その組織の関係を横に繋げていければ、コミュニティ・スクールが構築できるのではないのでしょうか。

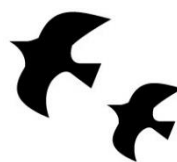
また委員のみなさんは、この会で得た情報を持って、それぞれの組織の中で生かしていただければ、この運営協議会の位置づけが定まってきます。

先生方が「この運営協議会があってよかったな」と思えるような会の価値、それをこの2年間である程度道すじをつくることできれば、次の段階、次の2年間に入っていけると思っています。



諸橋校長あいさつ

今年度、「全校なかよし遠足」を具体的な形とすることができました。その際、コミュニティ・スクール共催を私どもの方でお願いし、ご協力をいただきました。子どもたちは遠足を経て変わりました。たった一日の経験ではありましたが、たくましさや2倍3倍になり、自分たちでも授業作りにもいい影響が出てきていると思います。それぐらい子どもたちにとって、主体性を持たせて、自分たちで物事をやり遂げる、責任をしっかりと果たせる意識が育ってきたのではないかと強く感じています。ご協力をいただきまして、本当に感謝を申し上げます。



学習の様子 of 参観

協議会の前に、委員の皆様には5校時の全学年の授業の中から自由に参観していただきました。普段の子どもたちの様子、いろいろな先生の授業を参観することで、より深く学校の現状を見聞きし、協議のヒントを探していただく重要な時間となります。



(1) 前期学校評価について

渡邊教頭より、「学校評価シート」（新潟市教育委員会へ提出済み）と7月に子どもたちと職員に行ったアンケート結果をまとめた「前期・学校評価アンケート結果のお知らせ」（保護者の皆様へ令和4年11月配布）についての説明があり、それを受けてCS委員から質問や意見を聞きました。



アンケートの「だいたいそう思う」ってのが難しい。「そう思わない」にするとまずいかなって思っているのかも。だから、「そう思う」をすごく大事に扱ってくれている、このことが子どもの本当の姿に近づく判断で、先生方・校長先生がとらえているというのは素晴らしいと思います。

数字で出ると実際がわかりにくい。低い部分の意見を入れてほしかった。ただ数字だけを見て協議会をやっても意味がないのではないかな。



(2) 次年度の教育ビジョンへの要望について

令和4年度の重点

学 び 「共に考え、学びを深める子ども」
かかわり 「自他を大切にし、進んでかかわる子ども」
思いやり 「互いに助け合い、認め合う子ども」

次年度の教育ビジョンについて、「今年度と大きく変更する点はなく、引き続き3つの重点を継続して進めていきたい。」と諸橋校長より説明がありました。また、「学校要覧に地域の各団体の皆様のお名前をお借りして、学校運営協議会をベースに学校が成り立つという形を継続していき、地域各団体の連携とともに、夕日ラインでつながる近隣校との連携も学びの上で進めたい。」とのことでした。

(3) 教職員の任用に関する意見要望について

諸橋校長より、令和4年度の校内の組織図を基に五十嵐小学校の目指す組織づくりについての説明がありました。

大規模校ならではの「若手をどんどん入れて若手を育てる」という気運で学校を進めていける。ある意味、それがメリットという考え方もある。



(4) 全校なかよし遠足振り返りと次年度に向けて



10/25（火）に行われた「全校なかよし遠足」について、当日の様子をスライドで見た後に、今回の問題点と「遠足をより地域と協働したものにするためにできること」をテーマに話し合いました。実際にボランティアとして参加して下さった委員の方からたくさんの意見をいただきました。ぜひ次年度に生かして地域と一緒に遠足をよりよいものにしたいと思います。

ボランティアさんの場所によっては、子どもたちがほとんど通らない場所もあった。この辺は何時頃通過するとか、そういうのが大体でもわかればいい。

来年度は、学校からの連絡を早めにもらいたい。総会の時にご協力お願いできますかっていうことを、きちんと最初にお伝えできると動きやすい。

地図がわかりにくかったのと、実際の縮尺と違って想像していたよりたくさん歩くことになった子どもがいた。